

令和 8 年度 第 1 回 社会教育委員会 会議録

日 時 令和 8 年 5 月 2 8 日（木）午前 1 0 時から正午

場 所 豊明市役所新館 1 階 会議室 6

出席者 橋本委員、緒方委員、堀川委員、青木委員、笹生委員、今井委員、重松委員

欠席者 なし

事務局 教育部長、生涯学習課長、図書館長、生涯学習担当係長、文化・スポーツ担当係長、生涯学習係担当

傍聴人 なし

1 あいさつ

2 議題

（1）令和 7 年度実績報告等について

生涯学習事業については生涯学習担当係長が説明。

文化・スポーツ事業については文化・スポーツ担当係長が説明。

図書館事業については図書館長が説明。

-----質疑応答-----

【委員】

各行事に参加者が増えていることは良いことだが、参加者の年齢が高く、固定化されていると感じる。世代を広げるには、どのように周知するかが課題ではあるが、新たな周知をどのように工夫していくかあれば教えてください。

【事務局】

今年度から公民館講座の募集は LINE に変更しています。周知については、SNS（X（旧 Twitter）やインスタグラム）を活用しています。また、イベント時のチラシの配布や館内放送も行っております。

【事務局】

市でも今 LINE の利用を様々な媒体で周知しております。今は過渡期ではありますが、主体的になるような取組を行っているところです。そこに乗っかる形で下支えしてこうかと思っております。

【委員】

LINE を利用していない高齢者などの弱者に対しても手に取れるツールを残していく必要があるかと思います。

【委員】

講座などは保護者世代の参加があまりない。市 P 連の事務局も担っているため、要望があれば情報を流すといった協力はできると思います。

【委員】

周知するターゲットをはっきりさせてないと効果は得られないのではないかな。文化会館を例にすると、資料では令和 7 年度の利用数は前年比 100%に近い数字となっているが、実際駐車場の駐車台数を見ると昔より少なくなっています。費用対効果はどうか気になります。カラットができたことにより、文化事業もカラットで行っていると思われる。そのため、利用者も多少はカラットに流れているのではないかな。そのため、本当に文化会館の利用の数字通りで見てはいけないのではないかなと思います。そうすると広い文化会館の駐車場はもったいない気がします。

【事務局】

文化会館の一番の売りはホールだと思います。音楽系のイベントは、市内でやろうと思うと文化会館しかないと思います。また茶室もあり、子どもはそういう場所に入る機会があまりないと思います。そういった文化会館だからこそできることを活用していけるようなことを考えないといけないと思います。

【委員】

①生涯学習系の事業について

文化的な講座について、講座だけでなく、歴史的な場所を実際に見学させることが一番理解されると思います。

②文化・スポーツ系の事業について

・文化会館の利用者が少ないとなると月に 2 回くらいは目玉となるようなイベントを開催した方が良さか

③図書館の事業について

幼児向けや親子関連の事業は多いが、中高生や成人向けの事業が少ない。

【委員】

町内会を抜ける人が多く、チラシや広報を手にする機会が少なくなっています。広報を手にしないうや携帯電話を持っていない人のために、市内のショッピングセンターや病院等にチラシを置けば参加率が多少は上がるのではないかと思います。

【委員】

広報については、紙媒体のみでの広報は難しい気がします。とある市では、高齢者向けにタブレットを配布しているため、そういったことを豊明市でも実施して、使い方がわからない人にはコミュニケーションも兼ねて学生を出向させるのも一つだと思います。

また、スポーツ的な要素とゴミ拾いを組合せたようなイベントがありますが、既存のウォーキングイベントにプラスで知恵をつけさせるようなイベントがあるとよいと思います。

【委員】

子ども食堂のボランティアをしています、子どもに困っていることを聞いてもなかなか情報を得ることが難しいことが現状です。

(2)「第2次豊明市子ども読書活動推進計画」について

図書館長より説明

-----質疑応答-----

【委員】

豊明市は他市町村よりも本の数も多く、貸出も実際に多いです。その中で子供の活字を読むということを重点的にやっていかせたいです。

【事務局】

マタニティー読み聞かせを今年度から始めておりますが、学校に入ってから連携も重点的にやっていけたらと思います。

【委員】

読み聞かせだけでなく、その本を読んだ事に対して、大人が質問して共感することで、もっと本への興味やコミュニケーションを図ることが大切ではないでしょうか。

【委員】

図書館施設見学について参加人数が減っているので、もっと施設見学の啓発をしてもらいたいです。

【事務局】

読み聞かせが本に親しむきっかけという意味で一番重要だと思っていて、子供たちの居場所で読書の機会をどのように作っていくかを、学校の司書と何ができるか考えております。行事等も考えて進めていきます。

(3) その他

なし